

研究報告

研究科報告

広島文化学園大学大学院看護学研究科

研究科長 河野保子

研究科の活動

大学院看護学研究科は博士前期課程及び博士後期課程の2課程を有し、学生の1学年定員はそれぞれ10名、6名である。平成28年度の学生数は博士前期課程1年生3名、2年生3名で、博士後期課程は1年生3名、2年生4名（うち2名は後学期から休学）、3年生1名、在籍学生5名であり、各学生に対して教育・研究指導を展開した。その結果、平成29年3月には博士前期課程学生の3名が修士号（看護学）、博士後期課程学生1名が博士号（看護学）の学位を取得した。なお博士後期課程学生の1名は秋季終了において博士号（看護学）の学位を取得している。看護学研究科は学生の学位の取得に向けて努力を重ね成果を上げてる。

学位の取得以外に平成28年度の主な取り組みは以下の通りである。

① 教員組織の再編成

全学的な「大学院研究科担当教員資格審査規程」に基づいて、年度末に教員の業績評価を実施し、1名が合からマル合の評価を得た。また新規採用教員の業績評価を実施し、教員組織の充実を図っている。

② 博士後期課程学生の成果物（博士論文）のネット公表

③ 「職業実践力育成プログラム（BPプログラム）の検討

文部科学省より本研修テーマ「広島文化学園大学大学院看護学研究科看護学専攻 認知症看護エキスパート養成プログラム」が採択された。来年度は認知症研修会を実施する。

④ 研究科学生及び研究科教員に対する教育内容・満足度等に関する実態調査の施行

単純集計を行い提示したが、来年度はデータの分析・解釈を行って報告書を作成する。

⑤ 看護学研究科の新しい3つのポリシーを策定

全学的な研究科委員会において、各研究科部門の新しいポリシーを作成した。来年度はこのポリシーを踏まえて教育研究活動を行う。

⑥ 平成28年度私立大学研究ブランディング事業計画